

充実した1学期が終了



南翔

令和3年7月21日

文：校長 丹沢伸也

本日で一学期が終了しました。コロナ感染症の収束をみないまま新年度が始まったわけですが、「感染症対策に取り組みながら、なるべく通常の教育活動を実施していきたい」という思いでここまで取り組んできました。昨年度はできなかったこともできるようになり、充実した学期だったという気持ちです。

例年に近い活動ができた一学期

4月より通常に近い学校生活を進めてきましたが、6月に山梨県の感染レベルが「2」に引き上げられ、山梨県知事からは臨時特別協力要請が発せられる状況を受けて、一部の活動は中止や



制限を行いました。

そのような中、4月に予定した修学旅行は10月へ延期を決定したものの、PTA総会、1,2年の宿泊学習、地区総会、地区総体陸上の部、音楽集会・発表会等、昨年度は実施できなかった行事が、参観者の制限等はあっても実施する事ができました。また、日常の授業においても、水泳の授業や調理実習の授業等も行うことができて、通常の学校生活に近づけたことはとても喜ばしいことでした。

昨年度のコロナ禍で得た教訓を生かすこと

生徒の皆さんは、この一学期をどのような思いで取り組んだでしょうか。思い返せば、昨年3月、突然臨時休業となり、4月に学校が一旦始まったものの、すぐに5月の終わりまで再休業となりました。その時は、誰もが「当たり前前に生活できると」のありがたみを感じました。学校でも、当たり前だと思っていた日常の学校生活、普通に授業を受けられることが、実はとても脆いもので、貴重なものであることを実感しました。だからこそ、普段学校でできること一つ一つを大切に、全力で取り組もうという決意を持ったことでしょうか。皆さんが、この一学期、そんな思いを忘れずに取り組めたとしたら、コロナ禍の中でも貴重なことを学べたと思います。

一人一人が輝ける学校

4月、生徒会長の将二さんが、「市川南中学校は、人数が少ない学校だけれど、少ない人数だからこそ、一人一人が輝ける学校だ」と話をしてくれました。生徒のみなさんは、一学期を振りかえり、そんな実感をもてたでしょうか。



「輝く」ともいろいろな輝き方があると思います。みんなの先頭に立ったり中心になったりして活躍して光る輝き方があれば、自分の中で満足感や充実感を味わって光る輝き方もあります。他にも輝き方はあるでしょう。それは、周囲の人が感じることもあれば、自分の中だけで感じることもあると思います。先生から見ると、「あ、この瞬間、この生徒はとても輝いているな」と、思えるような場面がいくつもありません。

みんなが輝ける二学期に

これから、そんな輝く場面を大きくなくても、数多く作れることで充実した学校生活にすることができると思います。少ない人数の学校では、そういったチャンスが多く回ってきます。二学期以降、様々な行事や活動の中でしっかりと「輝ける場面」が作れるはずですが、そのためには、与えられた機会を逃さず、失敗を恐れず、一つ一つに全力で取り組むことです。そんな思いで新学期臨んで欲しいと思います。

音楽発表会が行われました

20日、市川・青洲高校音楽部と顧問の薬袋先生を招いて音楽発表会が行われました。

本校の合唱について、薬袋先生から次のような講評をいただきました。「一年生は、弱音がとてもすてきで、初めてとは思えない」「2年生は女子が、歌がすごくのびやかに響いていて驚いた。男子も身体をつけて音楽を感じていてすばらしい」「3年生は青く透き通った音楽だった。音楽に集中したために、感想を書く手が止まってしまった」「全校合唱のアカペラはとてもレベルが高い。群青は、いつか歌詞の意味をしみじみと感じる時が来る。その時は、歌詞のようにこの場所ですべてほしい」。全ては書けませんが、努力が報われる言葉でした。



会の冒頭、市川南中の良さも感じて欲しいと、高校生に伝えさせていただきました。それは、各学年が少人数であっても、臆することなく合唱に取り組んできたこと、もう一つは生徒と職員が一体となって合唱を創り上げてきたことです。これは、市川南中だからこそできる良さだと思えます。高校生たちにも、そんな様子を感じてもらえたら大変うれしく思います。

お知らせ

南翔祭について

今年度の南翔祭を、予定通り9月11日土曜日に実施します。ただし、コロナ感染症が収束しない状況のため、昨年度と同じく、午前に準備を行い午後の実施とします。雨天でも体育競技を体育館で行うので、順延はありません。参観者については現時点では、来賓には遠慮いただき保護者のみの参観で計画しております。本来なら多くの地域の方々や生徒が一生懸命に取り組む様子を見ていただきたところですが、ご理解をよろしくお願ひ致します。

1学期のスナップ

